



▲豪雨のために倒れた木はクレーンで引き揚げ、堤防も修理された

メンテナンス

メンテナンスには、大規模なものも含まれます。左図の木が夜、豪雨のため倒れました。川へのア

リバークウォークが建設された1940年代は、現在ほど車椅子への配慮はされていませんでした。障害を持った人々には、川は散策しにくい場所でした。ベビーカーもですね。
市は階段を10年以上かけて、数億円を費やし、スロープ、エレベーターに作り替え、リバークウォークをバリアフリーにしようとしてい

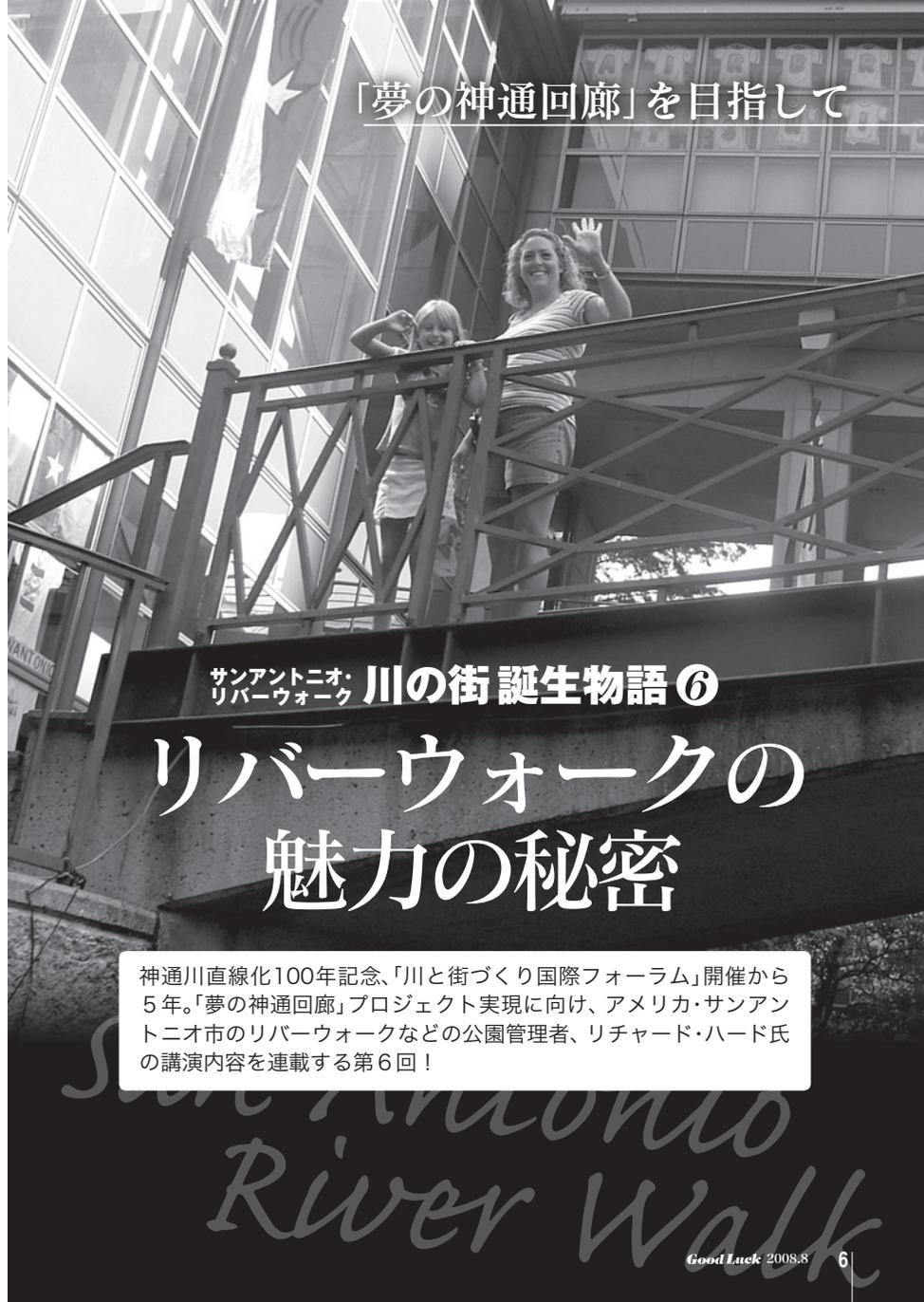
バリアフリー

クセスが限られ、作業がやりづらいので、木を扱いやすい長さに切った後、近くの橋からクレーンで引き揚げました。右の堤防が壊れているのが見えます。木で川が塞がれ、洪水の水が流れ込んだために、ダメージが起きたわけです。



ます。この建物は、新しいエレベーターが作られたところですが、こちらからこちらへ、どうやって渡るか、というのが課題でした。今では、エレベーターで上がってこちら側へぐるっと回って来れます。

「夢の神通回廊」を目指して



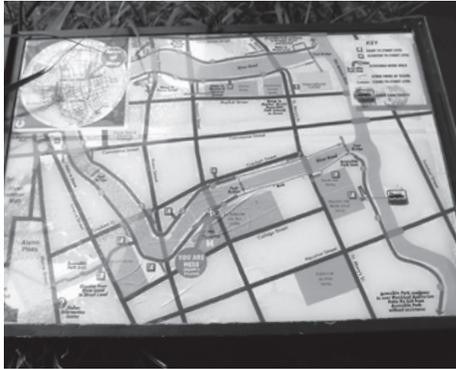
サンアントニオ リバークウォーク 川の街 誕生物語 ⑥

リバークウォークの 魅力の秘密

神通川直線化100年記念、「川と街づくり国際フォーラム」開催から5年。「夢の神通回廊」プロジェクト実現に向け、アメリカ・サンアントニオ市のリバークウォークなどの公園管理者、リチャード・ハード氏の講演内容を連載する第6回！

現在地マップ

成功のもう一つの鍵は、現在地を示す地図が、いたる所にあるということ。地図は来訪者に今いる場所を知らせるだけでなく、ここからどう行ったらいいかという道順を示しています。



アミーゴたち

市の出資では賄えないメンテナンス費用、来訪者対応費用のために、2000年に「チェンドロ・サンアントニオ」が設立されました。資金は地域内の個人、また、地方公共団体所有の、財産の査定により集められます。

地域が提供するサービスは補足的なもので、市のサービスに取って代るものではありません。あくまでも、市が基本的サービスを提供します。「アミーゴ」と呼ばれる係員が、3種類のサービスを行います。アミーゴとは、スペイン語で「友人」を意味します。

「メンテナンス・アミーゴ」は、歩道の補助的な清掃を行います。らくがきを消し、ちりとりや、ほうきを使ってゴミを集め、

◀「アミーゴ」と呼ばれる係員が、3種類のサービスを行う。清掃を行う「メンテナンス・アミーゴ」達。



サクラパックス(株)

水圧洗浄や、草むしりをしたりします。彼らが市のサービスを補完し、結果的に、中心地全体の景観

に寄与しています。

「アンバサダ・アミーゴ」は、親善大使のような役割を果たし、様々な目的で来た、中心地利用者の助けとなります。彼らはすぐに目について、コンベンション参加者、観光客、そして働く人々、警察官らの役にたちます。彼らは、サンアントニオの中心地で何が行なわれているのかをよく知っています。

「ストリート・ケイピング・アミーゴ」は、中心地の通行者に安らぎを与えるため、植物の世話をしています。リバーウォークの経験から、これらの改善作業は、周辺で働く人、住民、そして来訪者のために、中心地散策の質の向上に貢献しています。彼らは市の職員ではありません。「チェンドロ・サンアントニオ」に雇われた職員です。



掃除も パーティー、 泥のパレード!

水路のメンテナンスのため、毎年1週間ほど川の水が抜かれます。70年代には、何週間も水がなくても苦情はでませんでした。今日、日程は数年前に決められます。水抜きは通常、新年直後の閑散期に行なわれます。川底に泥がたまる蛇行部の清掃は、手作業で行なわれます。

コンクリート水路部分にたまった砂利や、瓦礫は、大きな機械で取りのぞかれます。

しかし、サンアントニオでは、水抜きもパーティーの季節です。「泥まつり」がパセオ・デル・リオ協会

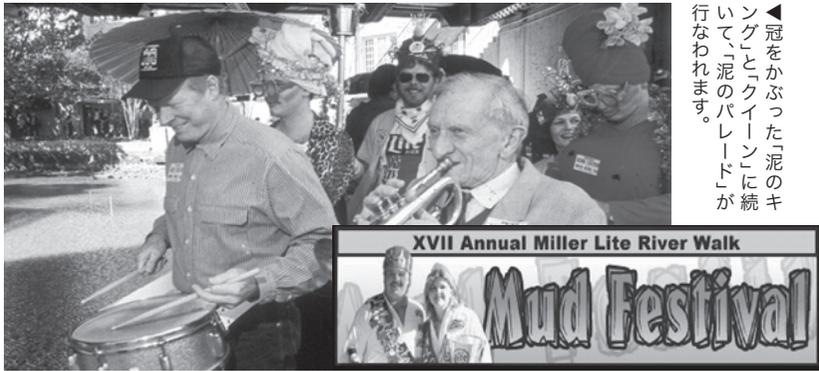


によって行なわれ、閑散期に人を呼ぶためのイベントになっています。「泥のキング」と「クイーン」が、5円で売られている投票券で投票され、選ばれます。夕



▲蛇行部の清掃は手作業で行われる
水路部分の砂利、瓦礫は大きな機械でしゅんせつ▶

▲冠をかぶった「泥のキング」と「クイーン」に続いて、「泥のパレード」が行なわれます。



方夜にかけては、泥パイダンスが踊られます。この祭りは資金集めの役割を果たします。

水に浮かぶゴミは、メンテナンスの悩みの種です。スピードと効率を高めるため、網が付いている、水面をすくいながら進む専用船を建造しました。網を広げると、ちょうど川幅になっているので、作業は1回で済みます。水上発電機や、水中の酸素量を増やすエアレーション機能、イベントによる汚濁を浄化するための設備を配置し、対処しています。

サンアントニオをバケーションで訪れる人にとっては、リバーウォークの水がきれいであることはとても重要です。この船を買うために、多額のお金が必要になりました。



▶水に浮かぶゴミをすくい取るため、網のついた翼を広げると川幅いっぱいになる専用船が建造された



▲あらゆる種類のイベントが、船上で催される。遊覧船でティーパーティーを楽しみに出航する女学生たちの顔にも、この異空間で過ごすひとときへの期待が溢れている

40隻の遊覧船(定員40名)がリバーウォークを運航しています。これらのボートは、民間企業の「リオ・サンアントニオ・クルーズ」が管理しています。1年間で150万人の利用があります。高い水質、排気ガス基準をクリアするため、ボートの燃料は、全て圧縮天然ガスが使われています。

約30分間の遊覧船は、定員20名の「デイナークルーズ」(1時間30分)にチャーターすることが出来ます。「コンベンション・シャトルサービス」、特別な「パーティー」や、「ツアー」にも使われます。または、もつと寛いだ雰囲気「クルーズ」にも使うことができます。ほとんど、あらゆる種類のイベントが、船上で催されますので、遊覧船はサンアントニオのシンボルとなっています。

クルーズ



▲楽団が雰囲気を盛り上げる